

武蔵野市学習者用コンピュータ通信

第 39 号

発行
武蔵野市教育委員会指導課
令和6年12月

市ホームページにも、これまでのバックナンバーを含め掲載しております。

「学習者用コンピュータ通信」を検索していただくか、二次元コードでアクセスしてください。



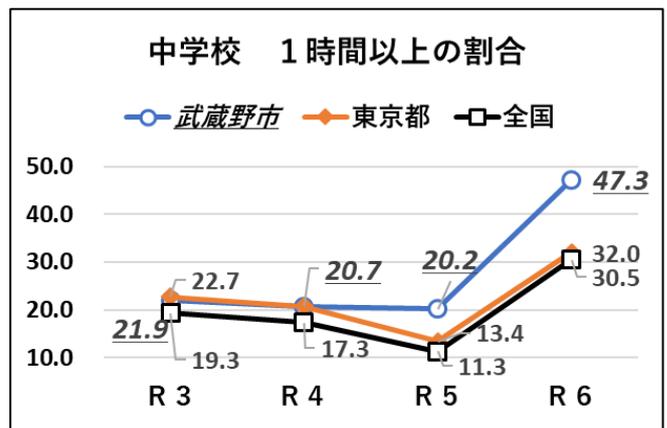
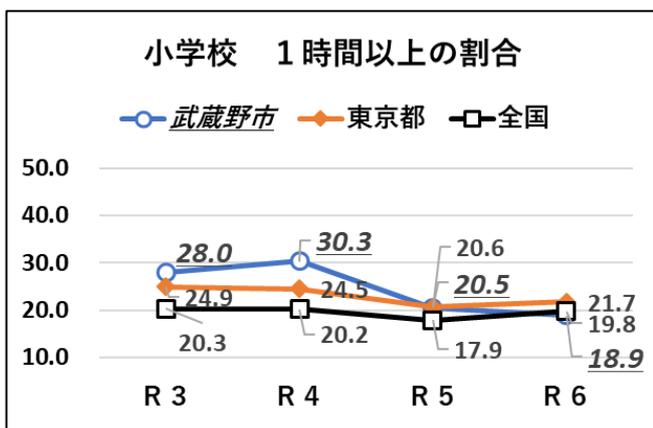
学習者用コンピュータ通信

検索



家庭におけるタブレット等の活用が進んでいます 約束づくりは進んでいますか？

令和6年度「全国学力・学習状況調査」における、「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く)」の質問結果から、武蔵野市の子どもたちはタブレット等を、家庭学習において積極的に活用していることが分かりました。



【学校の授業時間以外に、1時間以上タブレット等を使っている子どもたちの割合】

上のグラフを見ると、授業時間以外に勉強でタブレット等を1時間以上使用する割合が、小学校は全国平均と同程度、中学校は全国平均を大きく上回っていることが分かります。中でも中学校では、2時間以上の使用が、16.2%、3時間以上の使用が13.4%と長時間使用しています。

このことから、タブレット等を活用した学びが、武蔵野市の子どもたちにとって日常化していることが読み取れます。そのため、学校ではデジタル・シティズンシップの観点から、日々の授業や学校生活において抑制ではなく、効果的な活用を推進する必要があると考え、教育活動を進めています。

そのため、ご家庭における学習者用コンピュータの使い方に関するルール作りが、より重要になります。子どもに任せきることなく、ご家庭内でしっかりと話し合い、使い方を決めていただくことが大切です。また、作った約束を定期的に振り返り、使い方の実態に合わせた約束に更新していくことも重要です。2学期の使い方を振り返り、よりよい使い方をご家庭で考えていただきたいと思います。

「学習者用コンピュータの家庭での使用における約束」



https://www.city.musashino.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/037/763/yakusoku.pdf

(裏面あり)

授業における生成AIの効果的な活用についての挑戦が進んでいます

市内小学校5年生の社会科の授業で、子どもたちの学習の振り返りに生成AIを活用し、素早くフィードバックをする授業が行われていました。

担当教員によると、これまでも毎時間子どもたちの学習の振り返りにコメントを書いて戻っていたそうです。しかしそれでは、

- コメントを書くのに時間がかかり、子どもの手元に返すのが遅くなってしまふ。
- 返すのが遅くなることで、振り返りを次の授業に活用しにくい。
- 全員にコメントを書くため、教員の勤務時間が長時間化してしまふ。

といった課題がありました。そのため、2学期から子どもたちの学習の振り返りに対するコメントに、大学と連携して生成AIの活用を始めました。

【生成AI活用の流れ】

- ① 子どもが授業の振り返りを各自でGoogleフォームに打ち込む。
- ② 担当教員が、個人情報が含まれていないかなど簡単に内容を確認し、生成AIにデータを入力する。
- ③ 担当教員が振り返りに必要なキーワードを設定し、生成AIにフィードバックのコメントを作成させる。
- ④ 子どもたちは授業時間内に生成AIのフィードバックを確認する。

②食料生活の変化と食料自給（和食、洋食、1日あたりの食べ物の割合、畜産物）	キーワードチェック！	生成AIによるフィードバック
<p>日本の高度経済成長期には、「食生活の内容の変化が生じて、米を含む穀類の摂取量が減少し、肉類と乳類の摂取量が増え、大豆は、豆腐を始め醤油などが作れ、人々の食を支えてきたが時給率が約6%だ。その理由は、地域ごとの単収のばらつきや、農家の減少が理由だ、農家を増やせば大豆や小麦の時給率が上がるのではないかと考えた。</p>	<p>「食生活の変化」と「摂取量の変化」という2つの視点でまとめているね。高度経済成長期からの食生活の変化を、米や肉の量で具体的に説明できているよ。さらに、たんぱく質や脂質の摂取量といった栄養面からのアプローチも面白いね。 大豆の自給率の低さと理由を考え、農家の減少を指摘した点は素晴らしい！ 食生活の変化による「需要の変化」も、自給率に影響を与えるか考えてみよう。</p>	内容を褒めてくれたり、別の振り返りの視点もアドバイスしてくれたりします。
昔は米がしめていたけど米が減って小麦や油が増えているそして魚は減った。	「米の減少と、小麦や油えているね。魚の減少も、肉の増加も加えるよね。	
日本の自給率が昔より低くなってしまった理由は昔はコメ、魚等が食の中心だったが今は小麦などを使ったパンなどの洋食が中心になったからだと考えた。特に一人当たりのコメを食べる量が1980年から2020までに大きく変わったことがわかった	「米」と「小麦」の変化とめた点は素晴らしい！さらに、食生活の変化を具体的な年数で比較すると、もっと分かりやすいまとめになるよ。	

【子どもの振り返りと生成AIによるフィードバック】

生成AIを活用することで、素早く子どもたちにフィードバックすることが可能になり、次の授業に役立てるようになりました。また、教員の負担の軽減にもつながっています。さらに生成AIも学習し、フィードバックの内容も精選されてきています。

子ども、教員にとって、生成AIのよりよい活用方法の模索や挑戦が進んでいます。